

科目名	日本語 I	開講年度	2025
担当者	チャン クオック ヒエップ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）, 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・学期期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレースメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返り	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	事後学修：学期末復習テストの振り返りと学修	6 時間

科目名	日本語 I	開講年度	2025
担当者	井ノ口 智佳	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）, 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・学期期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返り	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	事後学修：学期末復習テストの振り返りと学修	6 時間

科目名	日本語 I	開講年度	2025
担当者	ソンダ サンジャヤ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	23	
	成果発表 (口頭・実技)	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート 試験	0	
	【定期試験】筆記試験 (対面)	0	
	その他 (%)	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30% ②JLPT 受験：10% ③ハーフ模試/実力テスト：7%	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・学期期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返り	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	事後学修：学期末復習テストの振り返りと学修	6 時間

科目名	日本語 I	開講年度	2025
担当者	片岡 浩史	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）, 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・学期期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレースメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返り	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	事後学修：学期末復習テストの振り返りと学修	6 時間

科目名	日本語 I	開講年度	2025
担当者	片岡 浩史	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）, 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・学期期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレースメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返り	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	事後学修：学期末復習テストの振り返りと学修	6 時間

科目名	日本語 I	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	23	
	成果発表 (口頭・実技)	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート 試験	0	
	【定期試験】筆記試験 (対面)	0	
	その他 (%)	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30% ②JLPT 受験：10% ③ハーフ模試/実力テスト：7%	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・学期期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレースメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返り	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	事後学修：学期末復習テストの振り返りと学修	6 時間

科目名	日本語 I	開講年度	2025
担当者	真下 恭子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）, 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・学期期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返り	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	事後学修：学期末復習テストの振り返りと学修	6 時間

科目名	日本語 I	開講年度	2025
担当者	福本 有希	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）, 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・学期期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返り	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	事後学修：学期末復習テストの振り返りと学修	6 時間

科目名	日本語 I	開講年度	2025
担当者	橋本 凜	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぼう日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）, 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・学期期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返り	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	事後学修：学期末復習テストの振り返りと学修	6 時間

科目名	日本語 I	開講年度	2025
担当者	尹 恵彦	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）, 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）, 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・学期期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けたふり返し②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けたふり返し	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	事後学修：学期末復習テストのふり返しと学修	6 時間

科目名	日本語 I	開講年度	2025
担当者	荻田 朋子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター (日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ), 氏原 庸子, ジェイ・リサーチ出版, 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1, 前坊 香菜子, アルク, 2019 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	23	
	成果発表 (口頭・実技)	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート 試験	0	
	【定期試験】筆記試験 (対面)	0	
	その他 (%)	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30% ②JLPT 受験：10% ③ハーフ模試/実力テスト：7%	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・学期期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けたふり返し②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けたふり返し	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	事後学修：学期末復習テストのふり返しと学修	6 時間

科目名	日本語Ⅱ	開講年度	2025
担当者	ソンダ サンジャヤ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 46-50	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 51-53	事後学修：テスト対策 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り内容についての宿題 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 54-60	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けた振り返りと準備 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法実践演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	文法実践演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：学期末復習テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返りと準備	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	学期末復習テストの振り返りと学修	4 時間

科目名	日本語Ⅱ	開講年度	2025
担当者	片岡 浩史	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 46-50	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 51-53	事後学修：テスト対策 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り内容についての宿題 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 54-60	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けた振り返りと準備 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法実践演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	文法実践演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：学期末復習テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返りと準備	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	学期末復習テストの振り返りと学修	4 時間

科目名	日本語Ⅱ	開講年度	2025
担当者	李 光曦	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 46-50	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 51-53	事後学修：テスト対策 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り内容についての宿題 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 54-60	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けた振り返りと準備 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法実践演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	文法実践演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：学期末復習テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返りと準備	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	学期末復習テストの振り返りと学修	4 時間

科目名	日本語Ⅱ	開講年度	2025
担当者	真下 恭子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 46-50	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 51-53	事後学修：テスト対策 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り内容についての宿題 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 54-60	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けた振り返りと準備 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法実践演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	文法実践演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：学期末復習テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返りと準備	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	学期末復習テストの振り返りと学修	4 時間

科目名	日本語Ⅱ	開講年度	2025
担当者	橋本 凜	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 46-50	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 51-53	事後学修：テスト対策 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り内容についての宿題 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 54-60	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けた振り返りと準備 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法実践演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	文法実践演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：学期末復習テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返りと準備	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	学期末復習テストの振り返りと学修	4 時間

科目名	日本語Ⅱ	開講年度	2025
担当者	河崎 絵美	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなどきどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなどきどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなどきどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなどきどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 46-50	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 51-53	事後学修：テスト対策 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り内容についての宿題 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 54-60	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けた振り返りと準備 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法実践演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	文法実践演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：学期末復習テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返りと準備	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	学期末復習テストの振り返りと学修	4 時間

科目名	日本語Ⅱ	開講年度	2025
担当者	福本 有希	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 46-50	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 51-53	事後学修：テスト対策 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り内容についての宿題 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 54-60	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けた振り返りと準備 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法実践演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	文法実践演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：学期末復習テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返りと準備	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	学期末復習テストの振り返りと学修	4 時間

科目名	日本語Ⅱ	開講年度	2025
担当者	李 光曦	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1]， 亀田美保他，研究社，2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3，前坊 香菜子，アルク，2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500，友松 悦子，アルク，2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳，友松 悦子，アルク，2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500，友松 悦子，アルク，2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 46-50	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 51-53	事後学修：テスト対策 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り内容についての宿題 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 54-60	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けた振り返りと準備 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法実践演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	文法実践演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：学期末復習テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返りと準備	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	学期末復習テストの振り返りと学修	4 時間

科目名	日本語Ⅱ	開講年度	2025
担当者	片岡 浩史	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 46-50	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 51-53	事後学修：テスト対策 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り内容についての宿題 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 54-60	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けた振り返りと準備 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法実践演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	文法実践演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：学期末復習テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返りと準備	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	学期末復習テストの振り返りと学修	4 時間

科目名	日本語Ⅱ	開講年度	2025
担当者	尹 恵彦	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなどきどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなどきどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなどきどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなどきどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 46-50	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 51-53	事後学修：テスト対策 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り内容についての宿題 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 54-60	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けた振り返りと準備 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法実践演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	文法実践演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：学期末復習テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返りと準備	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	学期末復習テストの振り返りと学修	4 時間

科目名	日本語Ⅱ	開講年度	2025
担当者	李 光曦	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅰと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1]，亀田美保他，研究社，2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3，前坊 香菜子，アルク，2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500，友松 悦子，アルク，2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳，友松 悦子，アルク，2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500，友松 悦子，アルク，2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. まとめ問題 3. 会話練習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 46-50	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 51-53	事後学修：テスト対策 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り内容についての宿題 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 54-60	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けた振り返りと準備 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法実践演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	文法実践演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	1. 小テスト 2. 学期末復習テストに向けた振り返り②	事後学修：学期末復習テストに向けた振り返りの復習プリント 事前学修：学期末復習テストに向けた振り返りと準備	2 時間
第30回	オンデマンド	学期末復習テスト	学期末復習テストの振り返りと学修	4 時間

科目名	日本語Ⅲ	開講年度	2025
担当者	柳 東汶	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】	ISBN	0

	①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ)， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストとハーフ模試が学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第22回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テストに向けてのふりかえり①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テストに向けてのふりかえり②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	6 時間

科目名	日本語Ⅲ	開講年度	2025
担当者	柳 東汶	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】	ISBN	0

	①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ)， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストとハーフ模試が学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第22回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テストに向けてのふりかえり①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テストに向けてのふりかえり②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	6 時間

科目名	日本語Ⅲ	開講年度	2025
担当者	李 光曦	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】	ISBN	0

	①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ)， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストとハーフ模試が学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第22回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テストに向けてのふりかえり①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テストに向けてのふりかえり②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	6 時間

科目名	日本語Ⅲ	開講年度	2025
担当者	荻田 朋子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】	ISBN	0

	①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ)， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストとハーフ模試が学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第22回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テストに向けてのふりかえり①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テストに向けてのふりかえり②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	6 時間

科目名	日本語Ⅲ	開講年度	2025
担当者	楊 子涵	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】	ISBN	0

	①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ)， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストとハーフ模試が学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

			準備	
第22回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テストに向けてのふりかえり①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テストに向けてのふりかえり②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	6 時間

科目名	日本語Ⅲ	開講年度	2025
担当者	大前 晶子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】	ISBN	0

	①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ)， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み		5
	授業期間中の小テスト、レポート課題等		23
	成果発表（口頭・実技）		0
	中間試験		25
	【定期試験】レポート試験		0
	【定期試験】筆記試験（対面）		0
	その他（％）		47
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストとハーフ模試が学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第22回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テストに向けてのふりかえり①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テストに向けてのふりかえり②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	6 時間

科目名	日本語Ⅲ	開講年度	2025
担当者	橋本 凜	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】	ISBN	0

	①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ)， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストとハーフ模試が学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第22回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テストに向けてのふりかえり①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テストに向けてのふりかえり②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	6 時間

科目名	日本語Ⅲ	開講年度	2025
担当者	ウン テワンダ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】	ISBN	0

	①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ)， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストとハーフ模試が学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第22回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テストに向けてのふりかえり①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テストに向けてのふりかえり②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	6 時間

科目名	日本語Ⅲ	開講年度	2025
担当者	宋 元祺	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって教科書が異なります。 授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】	ISBN	0

	①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ)， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストとハーフ模試が学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第22回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テストに向けてのふりかえり①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テストに向けてのふりかえり②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	6 時間

科目名	日本語Ⅲ	開講年度	2025
担当者	チャン クオック ヒエップ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅳと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって教科書が異なります。授業の中で指示しますので、間違えないように気を付けてください。 クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1], 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター(日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ), 水谷 信子他, ジェイ・リサーチ出版, 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【3クラス】	ISBN	0

	①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【4クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ）， 水谷 信子他， ジェイ・リサーチ出版， 2018 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2， 前坊 香菜子， アルク， 2016 年 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン(日本語能力試験必修パターンシリーズ)， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）， 氏原 庸子， ジェイ・リサーチ出版， 2015 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1， 前坊 香菜子， アルク， 2019 年		
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストとハーフ模試が学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの	2 時間

			準備	
第22回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解問題演習	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テストに向けてのふりかえり①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テストに向けてのふりかえり②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	6 時間

科目名	日本語IV	開講年度	2025
担当者	馬 花力	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 III と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 13-18	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けたふり返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第13回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit11	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit13	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テスト①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テスト②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	4 時間

科目名	日本語IV	開講年度	2025
担当者	荻田 朋子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 III と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年		
参考書	－	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 13-18	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けたふり返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第13回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit11	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit13	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テスト①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テスト②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	4 時間

科目名	日本語IV	開講年度	2025
担当者	橋本 凜	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 III と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 13-18	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けたふり返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第13回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit11	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit13	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テスト①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テスト②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	4 時間

科目名	日本語IV	開講年度	2025
担当者	権田 彩良	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 III と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 13-18	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けたふり返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第13回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit11	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit13	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テスト①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テスト②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	4 時間

科目名	日本語IV	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 III と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 13-18	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けたふり返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第13回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit11	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit13	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テスト①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テスト②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	4 時間

科目名	日本語IV	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 III と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 13-18	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けたふり返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第13回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit11	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit13	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テスト①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テスト②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	4 時間

科目名	日本語IV	開講年度	2025
担当者	柳 東汶	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 III と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 13-18	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けたふり返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第13回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit11	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit13	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テスト①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テスト②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	4 時間

科目名	日本語IV	開講年度	2025
担当者	ウン テワンダ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 III と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦勞しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 13-18	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けたふり返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第13回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit11	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit13	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テスト①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テスト②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	4 時間

科目名	日本語IV	開講年度	2025
担当者	チャン クオック ヒエップ	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 III と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500， 友松 悦子， アルク， 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳， 友松 悦子， アルク， 2011 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 13-18	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けたふり返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第13回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit11	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit13	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テスト①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テスト②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	4 時間

科目名	日本語IV	開講年度	2025
担当者	井藁 久美子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 III と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①テーマ別仲間とわいわい学ぶ日本語 [A2+~B1] , 亀田美保他, 研究社, 2023 年 ②キクタン日本語 日本語能力試験 N3, 前坊 香菜子, アルク, 2016 年 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短	ISBN	0

	文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500, 友松 悦子, アルク, 2010 年 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳, 友松 悦子, アルク, 2011 年		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	23	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	25	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）	47	
	その他の内容	①学期末復習テスト：30％ ②JLPT 受験：10％ ③ハーフ模試/実力テスト：7％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・期末復習テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3 3. リスニング	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 13-18	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けたふり返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 42-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返し）	事後学修：中間テストに向けたふり返し復習プリント 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第13回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第15回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit06	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit07	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit08	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit09	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit10	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第24回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit11	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit13	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	実力テスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	期末復習テスト①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	オンデマンド	期末復習テスト②	事後学修：期末復習テストに向けてのふりかえり復習プリント 事前学修：期末復習テストの準備	2 時間
第30回	対面	期末復習テスト	事前学修：期末復習テストの準備	4 時間

科目名	日本語Ⅴ	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2 【2クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【3クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【4クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 10％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	4 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

2025/05/01

第29回	対面	1. 小テスト 2. 定期試験総括（定期試験に向けたふり 返り）	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：定期試験に向けたふり返り	2 時間
第30回	オンデ マンド	定期試験総括（定期試験に向けたふり返 り）	事後学修：定期試験に向けた準備	6 時間

科目名	日本語Ⅴ	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2 【2クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【3クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【4クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 10％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	4 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

2025/05/01

第29回	対面	1. 小テスト 2. 定期試験総括（定期試験に向けたふり 返り）	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：定期試験に向けたふり返り	2 時間
第30回	オンデ マンド	定期試験総括（定期試験に向けたふり返 り）	事後学修：定期試験に向けた準備	6 時間

科目名	日本語Ⅴ	開講年度	2025
担当者	片岡 浩史	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2 【2クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【3クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【4クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 10％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	4 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

2025/05/01

第29回	対面	1. 小テスト 2. 定期試験総括（定期試験に向けたふり 返り）	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：定期試験に向けたふり返り	2 時間
第30回	オンデ マンド	定期試験総括（定期試験に向けたふり返 り）	事後学修：定期試験に向けた準備	6 時間

科目名	日本語Ⅴ	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2 【2クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【3クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【4クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 10％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	4 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

2025/05/01

第29回	対面	1. 小テスト 2. 定期試験総括（定期試験に向けたふり 返り）	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：定期試験に向けたふり返り	2 時間
第30回	オンデ マンド	定期試験総括（定期試験に向けたふり返 り）	事後学修：定期試験に向けた準備	6 時間

科目名	日本語Ⅴ	開講年度	2025
担当者	荻田 朋子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2 【2クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【3クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【4クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 10％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	4 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

2025/05/01

第29回	対面	1. 小テスト 2. 定期試験総括（定期試験に向けたふり 返り）	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：定期試験に向けたふり返り	2 時間
第30回	オンデ マンド	定期試験総括（定期試験に向けたふり返 り）	事後学修：定期試験に向けた準備	6 時間

科目名	日本語Ⅴ	開講年度	2025
担当者	柳 東汶	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2 【2クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【3クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【4クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート 試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 10％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講に あたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	4 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

2025/05/01

第29回	対面	1. 小テスト 2. 定期試験総括（定期試験に向けたふり 返り）	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：定期試験に向けたふり返り	2 時間
第30回	オンデ マンド	定期試験総括（定期試験に向けたふり返 り）	事後学修：定期試験に向けた準備	6 時間

科目名	日本語Ⅴ	開講年度	2025
担当者	真下 恭子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語 II と併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。なお、身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。 ②日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、きわめて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。 ③単純な形だが幅広く言葉を使え、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。 ④短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出合う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	中間テストを実施後には授業内でフィードバックを行う。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	クラスによって使用する教科書が異なります。購入する際は、間違えないように気を付けてください。 【1クラス】 ①日本語 N2 文法・読解まるごとマスター（日本語能力試験・日本留学試験読解対策シリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N2 【2クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【3クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ） ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【4クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン（日本語能力試験必修パターンシリーズ）	ISBN	0

	②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【5クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【6クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1 【7クラス】 ①日本語能力試験 N1 読解 必修パターン (日本語能力試験必修パターンシリーズ ②キクタン日本語 日本語能力試験 N1		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート 試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 10％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回あります。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事前学修：次回授業内容についての課題の準備	1 時間
第2回	対面	プレイスメントテスト	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：対策問題をしてくる 事前学修：中間テストに向けた復習	2 時間
第15回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストふり振り返り復習問題プリント 事前学修：中間テスト準備	2 時間
第16回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第17回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	中間テストに向けた振り返り	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習 事前学修：中間テストへ向けた準備	2 時間
第19回	対面	中間テスト	事後学修：中間テストに向けたふり振り返り復習 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	4 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題演習④	事後学修：授業内での学修項目の復習 事前学修：次回授業内容についての宿題	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題演習⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第27回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	1. 小テスト 2. 読解	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

2025/05/01

第29回	対面	1. 小テスト 2. 定期試験総括（定期試験に向けたふり 返り）	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：定期試験に向けたふり返り	2 時間
第30回	オンデ マンド	定期試験総括（定期試験に向けたふり返 り）	事後学修：定期試験に向けた準備	6 時間

科目名	日本語VI	開講年度	2025
担当者	福本 有希	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅴと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での基礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	適宜授業内でフィードバックを実施する		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	【1クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳	ISBN	0

	【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 18％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事件事後学修（予習・復習等）	事件事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事後学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 22-25	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 38-42	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 43-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 46-51	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り問題演習 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 52-55	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テストにむけた準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目のプリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法まとめ演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第27回	対面	文法まとめ演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	文法まとめ演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：授業内での学修項目の定期試験にむけた復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、定期試験の準備	2 時間
第30回	オンデマンド	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：定期試験の準備（120 分）	4 時間

科目名	日本語VI	開講年度	2025
担当者	尹 恵彦	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅴと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での基礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	適宜授業内でフィードバックを実施する		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	【1クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳	ISBN	0

	【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 18％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事件事後学修（予習・復習等）	事件事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事後学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 22-25	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 38-42	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 43-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 46-51	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り問題演習 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 52-55	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テストにむけた準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目のプリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法まとめ演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第27回	対面	文法まとめ演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	文法まとめ演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：授業内での学修項目の定期試験にむけた復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、定期試験の準備	2 時間
第30回	オンデマンド	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：定期試験の準備（120 分）	4 時間

科目名	日本語VI	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅴと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での基礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	適宜授業内でフィードバックを実施する		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	【1クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳	ISBN	0

	【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 18％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事件事後学修（予習・復習等）	事件事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事後学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 22-25	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 38-42	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 43-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 46-51	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り問題演習 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 52-55	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テストにむけた準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目のプリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法まとめ演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第27回	対面	文法まとめ演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	文法まとめ演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：授業内での学修項目の定期試験にむけた復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、定期試験の準備	2 時間
第30回	オンデマンド	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：定期試験の準備（120 分）	4 時間

科目名	日本語VI	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅴと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での基礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	適宜授業内でフィードバックを実施する		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	【1クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳	ISBN	0

	【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 18％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事件事後学修（予習・復習等）	事件事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事後学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 22-25	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 38-42	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 43-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 46-51	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り問題演習 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 52-55	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テストにむけた準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目のプリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法まとめ演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第27回	対面	文法まとめ演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	文法まとめ演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：授業内での学修項目の定期試験にむけた復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、定期試験の準備	2 時間
第30回	オンデマンド	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：定期試験の準備（120 分）	4 時間

科目名	日本語VI	開講年度	2025
担当者	橋本 凜	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅴと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での基礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	適宜授業内でフィードバックを実施する		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	【1クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳	ISBN	0

	【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 18% ②ハーフ模試（5月実施）7% ③宿題 13%	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っているが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事件事後学修（予習・復習等）	事件事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事後学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 22-25	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 38-42	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 43-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 46-51	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り問題演習 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 52-55	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テストにむけた準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目のプリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法まとめ演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第27回	対面	文法まとめ演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	文法まとめ演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：授業内での学修項目の定期試験にむけた復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、定期試験の準備	2 時間
第30回	オンデマンド	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：定期試験の準備（120 分）	4 時間

科目名	日本語VI	開講年度	2025
担当者	片岡 浩史	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅴと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用するということができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での基礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	適宜授業内でフィードバックを実施する		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	【1クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳	ISBN	0

	【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 18% ②ハーフ模試（5月実施）7% ③宿題 13%	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事件事後学修（予習・復習等）	事件事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事後学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 22-25	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 38-42	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 43-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 46-51	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り問題演習 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 52-55	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テストにむけた準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目のプリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法まとめ演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第27回	対面	文法まとめ演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	文法まとめ演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：授業内での学修項目の定期試験にむけた復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、定期試験の準備	2 時間
第30回	オンデマンド	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：定期試験の準備（120 分）	4 時間

科目名	日本語VI	開講年度	2025
担当者	真下 恭子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。		
授業の目的及び概要	本科目は、受講生の日本語レベルに応じて、クラス分けを行い実施する。日本語Ⅴと併せて、きわめて日常的で身近な話題や個人的に関心のある事柄について、自分自身のことについて話せる、他者の助けも借りながら必要な情報を求め、得た情報を活用することができるようになることを目的としている。そのため、授業では、読む、書く、聞く、話すといったスキルを総合的に向上させると同時に、表現したり読みとるために必要な文法を学修する。大学での学修やひいては大学卒業後に日本での就労も視野に入れ、継続的に日本語を学修する上での基礎を築く。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	①非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的で身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。 ②「そして」「しかし」「なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた、家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。 ③もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。 ④ゆっくりとはっきりと話されれば、具体的で身近な話題や最も直接的な話題（自分・家族・買い物・地理・仕事）など予測可能な日常の事柄に関する句や表現を聞いて理解し、必要な情報を取り出すことができる。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	適宜授業内でフィードバックを実施する		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	【1クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【2クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【3クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【4クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳	ISBN	0

	【5クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【6クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳 【7クラス】 ①どんなときどう使う日本語表現文型 500 ②改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型 500 短文完成練習帳		
参考書	—	ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	5	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	15	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	20	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	30	
	その他の内容	①JLPT 受験 18％ ②ハーフ模試（5月実施）7％ ③宿題 13％	
この科目の受講にあたって	文法の規則を覚えたり、書かれているものを見てわかるだけでは外国語で交流できるようになりません。話すためには、文法や言葉を知っていて、それを使う方法も知っていることが必要です。授業で学んだことを、授業外でも積極的に使ってみましょう。 また、中間テストが学期中に1回ある。確実に日々の学修を行い、小テスト、課題、中間・定期テストで点数を取ることが科目合格につながります。		

授業回	授業形式	授業計画	事件事後学修（予習・復習等）	事件事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス 授業の進め方、成績付与の方法等の説明	事後学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	1.5 時間
第2回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 1-3	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第3回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit01 文法 7・8 unit02 文法 9	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第4回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit02 文法 10-12	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第5回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 19-21	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第6回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 22-25	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第7回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 26-28	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第8回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit03 文法 29-32	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第9回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 33-36	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第10回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit04 文法 34-37.	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第11回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 38-42	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第12回	対面	1. 小テスト 2. 文法 unit05 文法 43-45	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第13回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 46-51	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第14回	オンデマンド	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り問題演習 事前学修：中間テストの準備	2 時間
第15回	対面	1. 小テスト 2. unit06 文法 52-55	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第16回	対面	中間総括（中間テストに向けた振り返り）	事後学修：中間テストに向けた振り返り復習プリント 事前学修：中間テストにむけた準備	2 時間
第17回	対面	中間テスト	事後学修：授業内での学修項目のプリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第18回	対面	JLPT 練習問題①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第19回	対面	JLPT 練習問題②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第20回	対面	JLPT 練習問題③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第21回	対面	JLPT 練習問題④	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第22回	対面	JLPT 練習問題⑤	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第23回	対面	JLPT 練習問題⑥	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第24回	対面	JLPT 練習問題⑦	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第25回	対面	JLPT 練習問題⑧	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第26回	対面	文法まとめ演習①	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間

第27回	対面	文法まとめ演習②	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第28回	対面	文法まとめ演習③	事後学修：授業内での学修項目の復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、小テストの準備	2 時間
第29回	対面	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：授業内での学修項目の定期試験にむけた復習プリント 事前学修：次回授業内容についての宿題、定期試験の準備	2 時間
第30回	オンデマンド	総括（定期試験に向けた振り返り）	事後学修：定期試験の準備（120 分）	4 時間

科目名	日本語総合演習 A	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日本語で授業を受けたり、日本語で議論するためのスキルを学ぶ。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（%）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	対面	授業を聞く練習①	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	対面	授業を聞く練習②	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第4回	対面	授業を聞く練習③	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第5回	対面	授業を聞く練習④	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第6回	対面	読解1-1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第7回	オンデマンド	読解1-2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第8回	対面	ディスカッション1	次回のディスカッションに向けて、グループで出た意見を類似のものでグループ化する。	4時間
第9回	対面	ディスカッション2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションに向けて、自分の考えを準備しておく。	4時間
第10回	対面	ディスカッション3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探す	4時間
第11回	対面	プレゼンの準備1（リサーチ）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	4時間
第12回	対面	プレゼンの準備2（リサーチ・pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第13回	対面	プレゼンの準備3（pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第14回	対面	グループ発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習 A	開講年度	2025
担当者	井ノ口 智佳	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日本語で授業を受けたり、日本語で議論するためのスキルを学ぶ。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通してだけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（%）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	対面	授業を聞く練習①	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	対面	授業を聞く練習②	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第4回	対面	授業を聞く練習③	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第5回	対面	授業を聞く練習④	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第6回	対面	読解1-1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第7回	オンデマンド	読解1-2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第8回	対面	ディスカッション1	次回のディスカッションに向けて、グループで出た意見を類似のものでグループ化する。	4時間
第9回	対面	ディスカッション2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションに向けて、自分の考えを準備しておく。	4時間
第10回	対面	ディスカッション3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探す	4時間
第11回	対面	プレゼンの準備1（リサーチ）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	4時間
第12回	対面	プレゼンの準備2（リサーチ・pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第13回	対面	プレゼンの準備3（pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第14回	対面	グループ発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習 A	開講年度	2025
担当者	井ノ口 智佳	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日本語で授業を受けたり、日本語で議論するためのスキルを学ぶ。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（%）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	対面	授業を聞く練習①	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	対面	授業を聞く練習②	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第4回	対面	授業を聞く練習③	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第5回	対面	授業を聞く練習④	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第6回	対面	読解1-1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第7回	オンデマンド	読解1-2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第8回	対面	ディスカッション1	次回のディスカッションに向けて、グループで出た意見を類似のものでグループ化する。	4時間
第9回	対面	ディスカッション2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションに向けて、自分の考えを準備しておく。	4時間
第10回	対面	ディスカッション3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探す	4時間
第11回	対面	プレゼンの準備1（リサーチ）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	4時間
第12回	対面	プレゼンの準備2（リサーチ・pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第13回	対面	プレゼンの準備3（pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第14回	対面	グループ発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習 A	開講年度	2025
担当者	楊 子涵	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日本語で授業を受けたり、日本語で議論するためのスキルを学ぶ。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（%）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	対面	授業を聞く練習①	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	対面	授業を聞く練習②	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第4回	対面	授業を聞く練習③	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第5回	対面	授業を聞く練習④	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第6回	対面	読解1-1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第7回	オンデマンド	読解1-2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第8回	対面	ディスカッション1	次回のディスカッションに向けて、グループで出た意見を類似のものでグループ化する。	4時間
第9回	対面	ディスカッション2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションに向けて、自分の考えを準備しておく。	4時間
第10回	対面	ディスカッション3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探す	4時間
第11回	対面	プレゼンの準備1（リサーチ）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	4時間
第12回	対面	プレゼンの準備2（リサーチ・pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第13回	対面	プレゼンの準備3（pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第14回	対面	グループ発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習 A	開講年度	2025
担当者	大前 晶子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日本語で授業を受けたり、日本語で議論するためのスキルを学ぶ。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（%）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	対面	授業を聞く練習①	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	対面	授業を聞く練習②	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第4回	対面	授業を聞く練習③	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第5回	対面	授業を聞く練習④	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第6回	対面	読解1-1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第7回	オンデマンド	読解1-2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第8回	対面	ディスカッション1	次回のディスカッションに向けて、グループで出た意見を類似のものでグループ化する。	4時間
第9回	対面	ディスカッション2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションに向けて、自分の考えを準備しておく。	4時間
第10回	対面	ディスカッション3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探す	4時間
第11回	対面	プレゼンの準備1（リサーチ）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	4時間
第12回	対面	プレゼンの準備2（リサーチ・pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第13回	対面	プレゼンの準備3（pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第14回	対面	グループ発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習 A	開講年度	2025
担当者	高月 喜美	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日本語で授業を受けたり、日本語で議論するためのスキルを学ぶ。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（%）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	対面	授業を聞く練習①	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	対面	授業を聞く練習②	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第4回	対面	授業を聞く練習③	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第5回	対面	授業を聞く練習④	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第6回	対面	読解1-1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第7回	オンデマンド	読解1-2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第8回	対面	ディスカッション1	次回のディスカッションに向けて、グループで出た意見を類似のものでグループ化する。	4時間
第9回	対面	ディスカッション2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションに向けて、自分の考えを準備しておく。	4時間
第10回	対面	ディスカッション3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探す	4時間
第11回	対面	プレゼンの準備1（リサーチ）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	4時間
第12回	対面	プレゼンの準備2（リサーチ・pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第13回	対面	プレゼンの準備3（pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第14回	対面	グループ発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習 A	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日本語で授業を受けたり、日本語で議論するためのスキルを学ぶ。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通してだけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（%）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	次回授業で扱う内容についての課題をする	2時間
第2回	対面	授業を聞く練習①	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第3回	対面	授業を聞く練習②	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。また、わからなかった語彙などを調べ覚える 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第4回	対面	授業を聞く練習③	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う内容についての課題をする	4時間
第5回	対面	授業を聞く練習④	復習：再度授業内で聞いた聴解素材を聞き、課題を完成させる。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第6回	対面	読解1-1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第7回	オンデマンド	読解1-2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回授業で扱う読解の素材を読んでおく。	4時間
第8回	対面	ディスカッション1	次回のディスカッションに向けて、グループで出た意見を類似のものでグループ化する。	4時間
第9回	対面	ディスカッション2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションに向けて、自分の考えを準備しておく。	4時間
第10回	対面	ディスカッション3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探す	4時間
第11回	対面	プレゼンの準備1（リサーチ）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	4時間
第12回	対面	プレゼンの準備2（リサーチ・pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第13回	対面	プレゼンの準備3（pptの作成）	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。十分な資料集めができていれば、スライドを作成する	6時間
第14回	対面	グループ発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習B	開講年度	2025
担当者	井ノ口 智佳	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	春学期の日本語総合演習 A で学んだディスカッションや発表の仕方を使って、ディスカッション、発表能力をさらに鍛える。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	2時間
第2回	対面	読解1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第3回	対面	ディスカッションと発表1（テーマ1）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第4回	オンデマンド	読解2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第5回	対面	ディスカッションと発表2（テーマ2）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第6回	対面	読解3	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第7回	対面	ディスカッションと発表3（テーマ3）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第8回	対面	読解4	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第9回	対面	ディスカッションと発表4（テーマ4）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第10回	対面	発表の準備1	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第11回	対面	発表の準備2	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第12回	対面	発表の準備3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第13回	対面	発表の準備4	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第14回	対面	発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習B	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	春学期の日本語総合演習 A で学んだディスカッションや発表の仕方を使って、ディスカッション、発表能力をさらに鍛える。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	2時間
第2回	対面	読解1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第3回	対面	ディスカッションと発表1（テーマ1）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第4回	オンデマンド	読解2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第5回	対面	ディスカッションと発表2（テーマ2）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第6回	対面	読解3	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第7回	対面	ディスカッションと発表3（テーマ3）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第8回	対面	読解4	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第9回	対面	ディスカッションと発表4（テーマ4）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第10回	対面	発表の準備1	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第11回	対面	発表の準備2	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第12回	対面	発表の準備3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第13回	対面	発表の準備4	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第14回	対面	発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習B	開講年度	2025
担当者	井ノ口 智佳	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	春学期の日本語総合演習 A で学んだディスカッションや発表の仕方を使って、ディスカッション、発表能力をさらに鍛える。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	2時間
第2回	対面	読解1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第3回	対面	ディスカッションと発表1（テーマ1）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第4回	オンデマンド	読解2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第5回	対面	ディスカッションと発表2（テーマ2）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第6回	対面	読解3	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第7回	対面	ディスカッションと発表3（テーマ3）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第8回	対面	読解4	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次回のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第9回	対面	ディスカッションと発表4（テーマ4）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第10回	対面	発表の準備1	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第11回	対面	発表の準備2	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第12回	対面	発表の準備3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第13回	対面	発表の準備4	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次回の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第14回	対面	発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習B	開講年度	2025
担当者	楊 子涵	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	春学期の日本語総合演習 A で学んだディスカッションや発表の仕方を使って、ディスカッション、発表能力をさらに鍛える。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	次の読解内容をあらかじめ読んでおく	2時間
第2回	対面	読解1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第3回	対面	ディスカッションと発表1（テーマ1）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第4回	オンデマンド	読解2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第5回	対面	ディスカッションと発表2（テーマ2）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第6回	対面	読解3	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第7回	対面	ディスカッションと発表3（テーマ3）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第8回	対面	読解4	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第9回	対面	ディスカッションと発表4（テーマ4）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 次の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第10回	対面	発表の準備1	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第11回	対面	発表の準備2	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第12回	対面	発表の準備3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第13回	対面	発表の準備4	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第14回	対面	発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習B	開講年度	2025
担当者	大前 晶子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	春学期の日本語総合演習 A で学んだディスカッションや発表の仕方を使って、ディスカッション、発表能力をさらに鍛える。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	2時間
第2回	対面	読解1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第3回	対面	ディスカッションと発表1（テーマ1）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第4回	オンデマンド	読解2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第5回	対面	ディスカッションと発表2（テーマ2）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第6回	対面	読解3	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第7回	対面	ディスカッションと発表3（テーマ3）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第8回	対面	読解4	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第9回	対面	ディスカッションと発表4（テーマ4）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第10回	対面	発表の準備1	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第11回	対面	発表の準備2	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第12回	対面	発表の準備3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第13回	対面	発表の準備4	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第14回	対面	発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習B	開講年度	2025
担当者	高月 喜美	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	春学期の日本語総合演習 A で学んだディスカッションや発表の仕方を使って、ディスカッション、発表能力をさらに鍛える。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	2時間
第2回	対面	読解1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第3回	対面	ディスカッションと発表1（テーマ1）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第4回	オンデマンド	読解2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第5回	対面	ディスカッションと発表2（テーマ2）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第6回	対面	読解3	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第7回	対面	ディスカッションと発表3（テーマ3）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第8回	対面	読解4	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第9回	対面	ディスカッションと発表4（テーマ4）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第10回	対面	発表の準備1	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第11回	対面	発表の準備2	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第12回	対面	発表の準備3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第13回	対面	発表の準備4	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第14回	対面	発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語総合演習B	開講年度	2025
担当者	井ノ口 智佳	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G2	授業方法	演習
科目区分	共通教育科目		
テーマ	春学期の日本語総合演習 A で学んだディスカッションや発表の仕方を使って、ディスカッション、発表能力をさらに鍛える。		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。専門分野の書籍の講読や、議論への参加が可能になることを目指し、1つのテーマに沿って、①資料を読む、②ディスカッションをする、③調べたことについて口頭で報告するといった練習を通して、「聞く・読む・話す・書く」の技能を総合的に向上させる。		
履修条件・留意点	N2 以上の口頭能力が求められます。 未取得者は、初回授業にて担当教員に相談してください。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。 ②はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。 ③予め用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に、楽に表現ができる。 ④ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。 ⑤幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるかどうかを決めることができる。 ⑥もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長く複雑な説明を理解できる。 ⑦内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的／専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	ディスカッションやプレゼンテーション発表の後、PPT のレイアウトは口頭発表の仕方（声の大きさ、態度等）の良かった点・改善点をコメントします。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	授業内でプリントを配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	30	
	成果発表（口頭・実技）	40	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	0	
	その他（％）		
	その他の内容		

この科目の受講にあたって	大学の専門科目の学習をする上で、クラスメイトとディスカッションをすることがあります。また、特に日本での就職を考えている人は、就職活動の際や就職後にも日本語でディスカッションをする必要があります。今から練習をして、ディスカッションができるようになります。
--------------	--

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス（授業の流れ、評価の方法等の説明）	今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	2時間
第2回	対面	読解1	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第3回	対面	ディスカッションと発表1（テーマ1）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第4回	オンデマンド	読解2	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第5回	対面	ディスカッションと発表2（テーマ2）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第6回	対面	読解3	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第7回	対面	ディスカッションと発表3（テーマ3）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第8回	対面	読解4	復習：授業内で読んだものを再度読み、知らなかったことばを覚え、内容を要約する。 事前学修：次のディスカッションテーマに向けて、情報を収集したり、考えをまとめておく	4時間
第9回	対面	ディスカッションと発表4（テーマ4）	今回のディスカッションの自己評価表を作成する。 他のグループのディスカッションを聞いて気づいたことをまとめる 今回の読解内容をあらかじめ読んでおく	4時間
第10回	対面	発表の準備1	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第11回	対面	発表の準備2	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第12回	対面	発表の準備3	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第13回	対面	発表の準備4	グループでのディスカッションをもとに、発表の準備のための資料を探し、次の授業で調べたことが報告できるようにまとめる。	6時間
第14回	対面	発表とディスカッション1	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間
第15回	対面	グループ発表とディスカッション2	発表したグループに対する評価コメントを作成する	2時間

科目名	日本語読解	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語読解	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニング の取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語読解	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニング の取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語読解	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニング の取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語読解	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語会話	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語会話	開講年度	2025
担当者	柳 東汶	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語会話	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニング の取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語会話	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語会話	開講年度	2025
担当者	尹 恵彦	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニング の取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語表現	開講年度	2025
担当者	李 光曦	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニング の取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート 試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語表現	開講年度	2025
担当者	宋 元祺	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語表現	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語表現	開講年度	2025
担当者	赤城 永里子	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：7 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	日本語表現	開講年度	2025
担当者	宋 元祺	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	1 単位
グレード	G2	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	N1 に合格できる高い日本語のレベルにまで到達するために、日本語の基礎を固める		
授業の目的及び概要	本科目は、留学生対象の授業である。日本語 1・2, I・II で学修したことを確実に覚え、N2 に合格できる実力を身につけ、N2 合格し、N1 合格につながる土台を作ることが目的である。		
履修条件・留意点	EJU など、日本語能力を図るテストは複数ありますが、JLPT N2 の資格を有しない学生はすべてこの科目に事前に登録されている。 科目を合格するためには、7 月試験の JLPT N2 の合格が必須である。		
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	本科目の到達目標は以下のとおりである。 ①N2 合格レベルに必要な語彙量を付ける。 ②N2、N3 の文法を確実に覚える。 ③N2 レベルの文章を読み解ける。 ④N2 に合格する。 ⑤N2 合格に必要な漢字語彙、漢字の読み方を覚える。		
資格・検定試験への対応	日本語能力試験（JLPT）各レベル：12 月の試験での合格を目指します。※詳しい目標レベルについては、各授業内で案内します。		
フィードバックの方法	授業内に解いた問題について、解き方を解説する。		
アクティブ・ラーニングの取組み	ディスカッション、ディベート、討議		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	資料を配布する	ISBN	なし
参考書	なし	ISBN	なし
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取組み	10	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	20	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	0	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	30	
	その他（％）	40	
	その他の内容	JLPT 合格（40％）	
この科目の受講にあたって	N2 は、大学で専門を学ぶ上で必須の日本語レベルである。当該科目は、担当教員・受講者が一丸となって能力の向上を目指す。そのため、受講生の能動的かつ積極的な参加が求められる。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第 1 回	対面	ガイダンス 実力テスト	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間

第2回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画①	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第3回	オンデマンド	N4/N5（日本語の基礎）復習動画②	日本語の基礎の活用、助詞の使い方の練習問題	2 時間
第4回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第5回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第6回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第7回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第8回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第9回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第10回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第11回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第12回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第13回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2 時間
第14回	対面	小テスト 文法演習 聴解演習	・授業内で出てきた言葉や漢字を覚える	2.5 時間
第15回	対面	総まとめ	今学期学修した語彙、文法等を再度覚えなおす	6 時間

科目名	現代日本事情 A	開講年度	2025
担当者	呉 紅敏	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日本の社会と文化		
授業の目的及び概要	本授業は、異文化間教育の一端を担うものとして位置付けられ、日本社会や文化に関する基本的な知識を学ぶとともに、留学生が異文化に適応し、日本での大学生活をより充実させるための基盤を築くことを目標とする。具体的には、留学生が自国の文化と比較しながら現代日本社会を観察・分析する視点を養い、日本語を通じたコミュニケーション力を向上させる。また、多様な価値観を理解し、異文化間での相互理解を深める力を育成する。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	1. 日本語で積極的にコミュニケーションを図り、言葉と文化の結びつきを理解することができる。 2. 自国の文化と比較しながら、他国の社会や異文化を観察・分析する視点を持つことができる。 3. 日本社会における多様な価値観を理解し、説明することができる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	提出された課題は添削して返却します。		
アクティブ・ラーニング の取り組み	PBL（課題解決型学習）／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	無し。レジュメ、資料を配付	ISBN	なし
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	0	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	30	
	【定期試験】レポート 試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	40	
	その他（％）		
	その他の内容		
この科目の受講にあたって	上記の「成績評価の基準・方法」をよく理解したうえで履修登録をしてください。無断欠席をする学生や受講態度の悪い学生は、評価が非常に低くなります。 受講生の興味関心や日本語能力に応じて、授業計画を変更することがあります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス・授業概要 授業の目的、評価方法、大学生活における諸注意点を理解する。	授業後、レジュメを読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間

第2回	対面	日本の国土と自然① 日本の地理や面積、人口、気候等の特徴について学ぶ。	授業後に、レジュメの 日本の国土と自然について、読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第3回	対面	日本の国土と自然②（火山、森林、地震など） 日本の自然環境の特徴と地域社会・文化の特徴について学ぶ。 具体的には、火山、森林、地震などの自然災害への対応について検討する。	授業後に、レジュメ日本の国土と自然②（火山、森林、地震など）を読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第4回	対面	日本の社会ルールとマナー① 公共交通機関や施設におけるマナーと行動について考える（「列の順番を守る」「携帯電話での通話をしない」など）。 自文化との比較を通じ、日常生活における日本人の行動特徴について考える。	授業後に、レジュメや日本の社会ルールとマナー①を読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第5回	対面	日本の社会ルールとマナー② 自分の住んでいる部屋のごみの分別と地域ルールについて、自国の習慣と比較する。 ごみ出しに関する異文化間のトラブルの事例を元に、多文化共生について考える。	授業後に、レジュメ日本の社会ルールとマナー②を読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第6回	対面	日本での対人関係① 日本における上下・親疎関係や内/外の考え方について学ぶ。 また、そのグルーピングの様式や対人関係について、自国の文化と比較する。	授業後に、レジュメ日本での対人関係①を読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第7回	対面	日本での対人関係② あいさつや敬称、敬語の言い回しに見られる文化的特徴について、自国との比較を通じて考える。	授業後に、レジュメ日本での対人関係②などを読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第8回	対面	中間テスト これまでの内容を振り返りながら、テストに取り組む。	これまでのレジュメを読んで復習しましょう。	4時間
第9回	対面	日本人の思考とコミュニケーションスタイル① 「本音」「建前」の事例を元に、婉曲的な表現を好む傾向にある日本人のコミュニケーションスタイルについて考える。 関連して、「空気を読む（KY）」「角を立てない」などの態度・表現についてもニュース等を通じて検討する。	授業後に、レジュメ日本人の思考とコミュニケーションスタイル①などを読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第10回	対面	日本人の思考とコミュニケーションスタイル② SNSの流行とともに、日本人のコミュニケーションスタイルが徐々に変容しつつある点について考察を加える。 各種SNSの年代別使用率、SNSが使用されることについての影響などのニュースや新聞記事を読み、自国と比較する。	授業後に、レジュメ日本人の思考とコミュニケーションスタイル②を読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第11回	対面	日本の歴史① 日本経済や労働環境について、戦後～バブル経済期までの変容を学ぶ。 また、当該時期の自国の経済や労働環境、日本との関わりについて調査する。	授業後に、日本の歴史①を読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第12回	対面	日本の歴史② 日本経済や労働環境について、バブル経済以降の変容を学ぶ。	授業後に、レジュメ日本の歴史②を読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間

		また、当該時期の自国の経済や労働環境、日本との関わりについて調査する。		
第13回	対面	日本社会の仕組み① 日本の政治制度と行政機構（選挙権、民主主義の制度）について、諸外国との比較を通じながら考察を加える。	授業後に、レジュメ日本社会の仕組み①を読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第14回	オンデマンド	日本社会の仕組み② 日本の教育制度および大学文化について、諸外国との比較を通じながら考察を加える。	授業後に、レジュメ日本社会の仕組み②などを読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第15回	対面	まとめ 春学期のふり振り返りと学修内容のまとめ	授業後に、これまでのレジュメや参考書などを読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間

科目名	現代日本事情 A	開講年度	2025
担当者	呉 紅敏	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	日本の社会と文化		
授業の目的及び概要	本授業は、異文化間教育の一端を担うものとして位置付けられ、日本社会や文化に関する基本的な知識を学ぶとともに、留学生が異文化に適応し、日本での大学生活をより充実させるための基盤を築くことを目標とする。具体的には、留学生が自国の文化と比較しながら現代日本社会を観察・分析する視点を養い、日本語を通じたコミュニケーション力を向上させる。また、多様な価値観を理解し、異文化間での相互理解を深める力を育成する。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	1. 日本語で積極的にコミュニケーションを図り、言葉と文化の結びつきを理解することができる。 2. 自国の文化と比較しながら、他国の社会や異文化を観察・分析する視点を持つことができる。 3. 日本社会における多様な価値観を理解し、説明することができる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	提出された課題は添削して返却します。		
アクティブ・ラーニング の取り組み	PBL（課題解決型学習）／フィールドワーク、学外見学、体験学習		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	無し。レジュメ、資料を配付	ISBN	なし
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート 課題等	0	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	30	
	【定期試験】レポート 試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	40	
	その他（％）		
	その他の内容		
この科目の受講にあたって	上記の「成績評価の基準・方法」をよく理解したうえで履修登録をしてください。無断欠席をする学生や受講態度の悪い学生は、評価が非常に低くなります。 受講生の興味関心や日本語能力に応じて、授業計画を変更することがあります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス・授業概要 授業の目的、評価方法、大学生活における諸注意点を理解する。	授業後、レジュメを読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間

第2回	対面	日本の国土と自然① 日本の地理や面積、人口、気候等の特徴について学ぶ。	授業後に、レジュメの 日本の国土と自然について、読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間
第3回	対面	日本の国土と自然②（火山、森林、地震など） 日本の自然環境の特徴と地域社会・文化の特徴について学ぶ。 具体的には、火山、森林、地震などの自然災害への対応について検討する。	授業後に、レジュメ日本の国土と自然②（火山、森林、地震など）を読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間
第4回	対面	日本の社会ルールとマナー① 公共交通機関や施設におけるマナーと行動について考える（「列の順番を守る」「携帯電話での通話をしない」など）。 自文化との比較を通じ、日常生活における日本人の行動特徴について考える。	授業後に、レジュメや日本の社会ルールとマナー①を読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間
第5回	対面	日本の社会ルールとマナー② 自分の住んでいる部屋のごみの分別と地域ルールについて、自国の習慣と比較する。 ごみ出しに関する異文化間のトラブルの事例を元に、多文化共生について考える。	授業後に、レジュメ日本の社会ルールとマナー②を読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間
第6回	対面	日本での対人関係① 日本における上下・親疎関係や内/外の考え方について学ぶ。 また、そのグルーピングの様式や対人関係について、自国の文化と比較する。	授業後に、レジュメ日本での対人関係①を読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間
第7回	対面	日本での対人関係② あいさつや敬称、敬語の言い回しに見られる文化的特徴について、自国との比較を通じて考える。	授業後に、レジュメ日本での対人関係②などを読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間
第8回	対面	中間テスト これまでの内容を振り返りながら、テストに取り組む。	これまでのレジュメを読んで復習しましょう。	4 時間
第9回	対面	日本人の思考とコミュニケーションスタイル① 「本音」「建前」の事例を元に、婉曲的な表現を好む傾向にある日本人のコミュニケーションスタイルについて考える。 関連して、「空気を読む（KY）」「角を立てない」などの態度・表現についてもニュース等を通じて検討する。	授業後に、レジュメ日本人の思考とコミュニケーションスタイル①などを読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間
第10回	対面	日本人の思考とコミュニケーションスタイル② SNS の流行とともに、日本人のコミュニケーションスタイルが徐々に変容しつつある点について考察を加える。 各種 SNS の年代別使用率、SNS が使用されることについての影響などのニュースや新聞記事を読み、自国と比較する。	授業後に、レジュメ日本人の思考とコミュニケーションスタイル②を読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間
第11回	対面	日本の歴史① 日本経済や労働環境について、戦後～バブル経済期までの変容を学ぶ。 また、当該時期の自国の経済や労働環境、日本との関わりについて調査する。	授業後に、日本の歴史①を読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間
第12回	対面	日本の歴史② 日本経済や労働環境について、バブル経済以降の変容を学ぶ。	授業後に、レジュメ日本の歴史②を読んで復習しましょう（4 時間程度）。	4 時間

		また、当該時期の自国の経済や労働環境、日本との関わりについて調査する。		
第13回	対面	日本社会の仕組み① 日本の政治制度と行政機構（選挙権、民主主義の制度）について、諸外国との比較を通じながら考察を加える。	授業後に、レジュメ日本社会の仕組み①を読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第14回	オンデマンド	日本社会の仕組み② 日本の教育制度および大学文化について、諸外国との比較を通じながら考察を加える。	授業後に、レジュメ日本社会の仕組み②などを読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間
第15回	対面	まとめ 春学期のふり振り返りと学修内容のまとめ	授業後に、これまでのレジュメや参考書などを読んで復習しましょう（4時間程度）。	4時間

科目名	現代日本事情 B	開講年度	2025
担当者	呉 紅敏	配当年次	1234
科目ナンバリング	科目ナンバリングは下記を参照してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/numbering.html	単位数	2 単位
グレード	G1	授業方法	講義
科目区分	共通教育科目		
テーマ	現代日本事情と国民生活		
授業の目的及び概要	日本事情 A に引き続き、現代の日本事情についてトピックを選び学修する。本授業では、日本の社会問題や直面する諸課題を取り上げ、留学生が生まれ育った国との違いを比較しながら、現代日本社会を読み解くための基礎的な知識を習得することを目指す。また、日本社会における多様な価値観を理解するとともに、社会の一員としての意識を高める力を育成する。		
履修条件・留意点			
DP との関連	本科目と学位授与の方針（DP）との関連については、以下の URL から確認してください。 https://www.keiho-u.ac.jp/faculty/taken/curriculummap.html		
学修の到達目標	1. 現代日本社会の現状や課題に対して、どのように取り組んでいるかを理解できるようになる。 2. 日本社会が抱える課題について、自国の文化や習慣と比較し、その相違点を論理的に説明できるようになる。 3. 現代社会の一員としての役割を意識するとともに、多様な価値観を理解できるようになる。		
資格・検定試験への対応			
フィードバックの方法	提出された課題は添削して返却します。		
アクティブ・ラーニングの取り組み	PBL（課題解決型学習）／グループワーク		
実務経験のある教員による授業科目			
テキスト	無し。レジュメ、資料を配付	ISBN	なし
参考書		ISBN	
成績評価の方法・基準	授業への積極的な参加度・取り組み	30	
	授業期間中の小テスト、レポート課題等	0	
	成果発表（口頭・実技）	0	
	中間試験	30	
	【定期試験】レポート試験	0	
	【定期試験】筆記試験（対面）	40	
	その他（％）		
	その他の内容		
この科目の受講にあたって	上記の「成績評価の基準・方法」をよく理解したうえで履修登録をしてください。無断欠席をする学生や受講態度の悪い学生は、評価が非常に低くなります。 受講生の興味関心や日本語能力に応じて、授業計画を変更することがあります。		

授業回	授業形式	授業計画	事前事後学修（予習・復習等）	事前事後の学修時間
第1回	対面	ガイダンス・授業概要 授業の目的、評価方法、進め方等を理解する。	シラバスを確認し、疑問を整理する	4 時間
第2回	対面	日本社会の課題①（少子化と多文化共生）	テキスト該当部を読んでまとめてくる。	4 時間

		外国人の増加と多文化共生について考える。インバウンドとその経済効果、課題について考える。	学んだこと、資料をもとに課題をまとめる。	
第3回	対面	日本社会の課題①（少子化と多文化共生） 日本の人口動態統計をもとに、少子化の現状と今後の社会について考える。なぜ日本で少子化になったのか、ほかのアジアの国ではどうなのかを比較し考える。	テキスト該当部を読んでまとめてくる。 学んだこと、資料をもとに課題をまとめる	4 時間
第4回	対面	日本社会の課題①（少子化と多文化共生） 少子化と外国人の増加の状況のかなで、異文化背景とした外国人との共生や課題をテーマにグループで調査。意見をまとめ発表の準備をする。	グループで課題を設定し、調べてくる 学んだこと、調べたことをもとに発表資料をまとめる。	4 時間
第5回	対面	日本社会の課題①（少子化と多文化共生） グループ意見交換会	テキスト該当部を読んでまとめてくる。 学んだこと、資料をもとに課題をまとめる。	4 時間
第6回	対面	日本社会の課題② （災害につよい街と人とのつながり） 災害の対応する社会づくりと多文化共生 地震、台風などへの取組と地域文化、社会への影響を考える。阪神大震災での外国語情報サービスの整備、能登半島地震での外国人労働者へのサービス、情報伝達の課題などを例にあげて考えてみる。	テキスト該当部を読んでまとめてくる。 学んだこと、資料をもとに課題をまとめる	4 時間
第7回	対面	日本社会の課題② （災害につよい街と人とのつながり） 八尾市をはじめ、日本の都市がどのように災害対策を行なっているのかをケーススタディとして学ぶ。	資料を参照し、該当部を読んで課題をまとめる。 学んだこと、資料をもとに課題をまとめる	4 時間
第8回	対面	日本社会の課題②（災害につよい街と人とのつながり） 災害発生時のボランティア活動や環境保全、地域生活・文化の維持の取組についてグループで調べ、意見をまとめて発表の準備をする。	グループで課題を設定し、調べてくる 学んだこと、調べたことをもとに発表資料をまとめる	4 時間
第9回	対面	日本社会の課題②（災害につよい街と人とのつながり） グループ発表	テキスト該当部を読んでまとめてくる。 学んだこと、資料をもとに課題をまとめる	4 時間
第10回	対面	日本社会の課題③ （ジェンダーと日本社会） 選択的夫婦別姓の是非、女性の労働の現状など、日本社会におけるジェンダーの在り方について学ぶ。	テキスト該当部を読んでまとめてくる。 学んだこと、資料をもとに課題をまとめる	4 時間
第11回	対面	日本社会の課題③ （ジェンダーと日本社会） 「ジェンダーギャップ指数」を切り口とし、同指数1位のアイスランドの取り組みと比較しながら、自国や日本におけるジェンダーの在り方について考える。	グループで課題を設定し、調べてくる 学んだこと、調べたことをもとに発表資料をまとめる	4 時間
第12回	対面	日本社会の課題③ （ジェンダーと日本社会） 日本のメディアがジェンダーのステレオタイプを再生産する仕組みについて、広告やテレビなどを題材としながら考える。	グループで課題を設定し、調べてくる 学んだこと、調べたことをもとに発表資料をまとめる	4 時間
第13回	対面	日本社会の課題③ （ジェンダーと日本社会） 自国との比較を通じて、ジェンダーに対す	グループで課題を設定し、調べてくる 学んだこと、調べたことをもとに発表資料をまとめる	4 時間

		る通時的な意識・制度・社会の変化について調査し、意見をまとめ、発表の準備を行う。		
第14回	対面	日本社会の課題③ (ジェンダーと日本社会) グループ発表	テキスト該当部を読んでまとめてくる。 学んだこと、資料をもとに課題をまとめる	4時間
第15回	オンデマンド	まとめ 春学期のふり返りと学修内容のまとめ	秋学期の学修内容を復習し、定期試験の準備をする	4時間